

山北小



学 校 だ よ り
令和6年7月17日②
校 長 室 発 行



河内小 HP

*** 妹尾さんから学ぶ SDG s な里海米 ***

河内小の田植え体験



『もみまき』をしてから約1ヶ月で丈夫な苗が育ちました。妹尾宗夫さんと相談しながら準備を進めてきた5年生が中心になって進行してくれました。河内の米づくりについて学習をしている5年生たちから説明を聞いた後に、全員で苗を植えました。

一粒の粳が成長して、しっかりした苗に育ちました。縦割り班ごとに並んで、田んぼに張られた糸を目印にしながら、みんなで植えることができました。田植え体験が初めての1年生は、お兄さんやお姉さんに教えてもらって頑張りました。田植えが終わって、3年生以上は隣の田んぼで、泥んこ遊びをしました。お天気がよかったので、みんな全身泥まみれになって楽しく遊びました。今年は飛び入りで、河内こども園の園児さんも一緒に泥んこ遊びに参加してくれて一緒に楽しむことができました。カキ殻などの栄養をいっぱい含んだ土とのふれあいは、河内小でできる貴重な体験です。遊んだ後は、5、6年生で代掻きをしました。田んぼの中は、歩きにくいけど、高学年の力の見せどころです。力を合わせて頑張りました。これからは、稲が育っていく様子が楽しみです。「里海米」は、田んぼの土壌改良材として、カキ殻を砕いたものをまいています。カルシウムやミネラルが加わった土から育ったお米は、SDGsの視点に特化したブランド米です。カキ殻が廃棄物としてではなく、資源として有効活用されることで、海も豊かにすることができる方法です。陸と海との好循環システムがあることやそこに関わる人たちの思いも大切に引き継いでもらいたいと思っています。

◆河内こども園のこどもたちが応援してくれました♪ →



5・6年被爆体験・伝承講話

■7月2日に「被爆体験伝承者講話」を聞きました。当時、朴さんが体験したことを伝承者の兼本さんが優しく分かりやすい語りで紹介してくださいました。

原爆投下された時、いつもの朝が一瞬で、地獄絵図のような光景に変わってしまった様子をその時の視点で話して下さいました。兼本さんの話を聞いて、戦争をしてはいけないと強く思い、深く考える時間になりました。多くの方々の悲しみの上に成り立っている平和は尊いものです。大切にしていきたいと思います。



3・4年非行防止教室・真庭警察署



■3, 4年生で『ネットモラル教室』をしました。講師には、真庭警察署生活安全課から明見警部補が来て下さいました。ICTの活用が当たり前になり便利になりましたが、こどもたちがトラブルに巻き込まれる事案も増えています。スマホやゲーム機からの課金トラブルや写真や動画、書き込みによるトラブル・・・様々な危険な事案が発生しています。安全に使える道具として、保護者との約束を守って利用してください。学校のタブレットについても同様で、ルールやマナーを守って、勉強に役立てましょう。

第2回学校運営協議会

■6月26日に、第2回学校運営協議会を開きました。運営委員の方々には、給食の試食会にも参加していただき、こどもたちと一緒に給食を食べていただきました。その後、5校時目に、5、6年生の総合的な学習の時間を見ていただきました。

6年生は、卒業生たちの取り組みを引き継ぎ、「キリタローの館」の活用について、自分たちの考えや計画を伝えました。5年生は、「河内の米づくり体験」の取り組みを発表し、みんなで作ったお米をどうするか？等お米の活用についても参加された方々からのご意見やアイデアを聞きました。小学生なりの考えで、河内のためにできることをいろいろと考えていますが、地域みなさんとのやりとりを参考にして、これからの内容を整理します。これから、どんな取組を展開してくれるのか楽しみです。学校運営協議会の方々からの応援を受けて、支えていただきながら、地域の良さ再発見し、地域を大切にできる人に育つようにと、願っています。次回は、11月1日になります。

